



発行責任者
 社会福祉法人こころ 理事長 金子 智子
 こころ編集局
 諏訪市高島一丁目21番14号
 TEL 0266-54-5610
 FAX 0266-54-5618
 ホームページ
http://www.kokoro5560.or.jp/?page_id=773

今日は節分、今年もまた、とてもカラフルな鬼がやって来ました。登場と共に笑いが起きるのがお決まりです。新聞紙で作った玉を、投げては拾い、笑っては投げての繰り返し。鬼と記念撮影もして、楽しい時間を過ごしていただきました。

(提供：高島デイサービス)



1月14日(火)利用者様が子供のころ、正月に馴染みのある遊びの中から、コマ回しとカルタ取りをして楽しんでいただきました。コマは、折り紙を使って手作りしました。クルクル回りだすと、口々に「キレイ、キレイ」とはしゃいでいます。カルタ取りは、3グループに分かれて輪になり、読み手の声に集中します。目と耳



を思いっきり動かして、1枚でも多く札を取ろうと身を乗り出して臨戦態勢で取り組まれていました。(提供：ひろば小多機)



2月3日(月)邪気を払って福を呼ぶ、節分祭を開催しました。1階から4階まで、それぞれのフロアで豆に見立てた新聞紙を丸めた球を手にとって待ち構えています。そこに、荒々しく赤鬼・青鬼が現れると一斉に大きな声で「鬼は外、福は内」と言って、「豆」を投げつけて

していました。セレモニーが終わると、鬼と握手をしたり記念撮影をしたり、甘納豆を食べながら昔の体験を話されるなど、良い思い出作りになりました。(提供：ひろば特定)



1月10日(金)お正月、手作り「すごろく大会」を開催しました。大きな双六を置いたテーブルを囲んで、順番にサイコロを振っていきます。止まったマスの指示に従って「信濃の国」を唄ったり花の名前を幾つか言ったりして、全員がゴールすると万歳をして喜びました。おやつには、白玉団子の入ったお汁粉をいただき楽しい時間を過ごしました。



1月24日(金)ばあばのフロアで、炊き込みご飯と豚汁を作って食べました。いつものように利用者さんと一緒に調理します。ポ





ールいっぱいの方の野菜を、皆で手際よく切っていきます。出来上がった炊き込みご飯を「美味しい美味しい」と言っは、豚汁のおかわりをされる方が大勢いました。

(提供：グループホーム)

1月27日(月)3階リビングで、職員手作りの「こころ神社」に

新年のお参りをしました。その後に、職員が「富士山」「早春賦」「青い山脈」の曲目をフルートで演奏するのを聞きました。



た。フルート演奏は、なかなか聞くことが出来なかったのので、皆さん聞き入っていました。中には口ずさまれる方もいました。最後に「信濃の国」を演奏し、唄いながら体操をして、心も体も癒されました。



2月4日(火)4階リビングに集まり節分の行事を開催しました。鬼に扮した職員が、一人ひとりのお部屋を回り「鬼がやってきたぞー」と言っは、入所者さんと記念撮影をしました。皆さん笑顔で楽しそうな姿が見られました。おやつ



は、抹茶どら焼きを召し上がっていただきました。ホットプレートで小さなホットケーキを作りねりアンを挟んで、抹茶味の生クリーム添えました。

美味しそうなミニどら焼きを皆さん喜んで食べられていました。(提供：ひろば特養)



2月2日(日)節分、昼食の配膳に思わず目を奪われる。

お皿に乗ったお寿司は、ピンクのエビ、ピンクのデンブ、金糸卵に「奇麗」「かわいい」と声が出る。汁物のお品書きに「鬼除け汁」と書いてあるが、聞きなれない名前だ。「けんちん汁」ではないようだ。食べてみると、イワシのつみれと大豆が入っている。お腹の「鬼退治」とは考えたものだ。いつもは、食の細い利用者さん

が、珍しく完食されていた。職員も口々に「めづらしい」「これは美味しい」と感心していた。

食事の提供に利用者さんの楽しみも考えてくれる食事作りのスタッフさんに感謝する。

(投稿：職員代表)

今年の節分は、2月2日でした。2021年の立春の時刻が2月3日23時59分で、2022年は2月4日でした。このため2022年には前日の2月3日が例年どおり節分となり、これが2024年まで続いたが、2024年がうるう年にあたることから、翌2025年の立春は2月3日に早まり、今年の節分は4年ぶりに2月2日となりました。(ミニ知識)

コロナやインフルエンザに、負けるな。マスク・消毒・三密回避で乗り越えよう。

密閉

No

密集

No

密接

No